

Smile & Heart

「笑顔」と「まごころ」
あふれる病院

2019 spring

春号

ご自由にお持ち帰りください

特集

脳にも 低侵襲の治療を

思考、記憶、感覚など

あらゆる機能と深く関わる脳。

中枢神経を守りつつ

確実で安全な治療を徹底追求。



脳神経外科の治療とは？

脳神経外科 科部長 長久 伸也
日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本
神経内視鏡学会技術認定医
【主な専門領域】脳神経外科全般、脳腫瘍



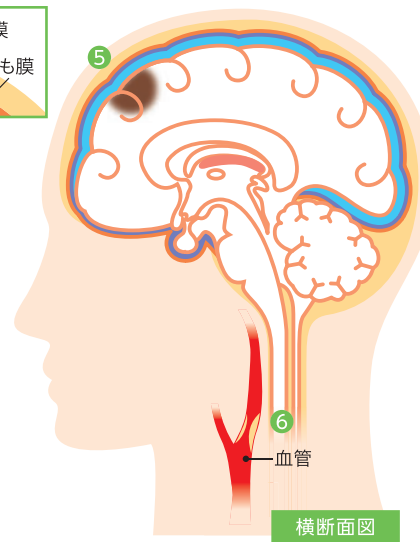
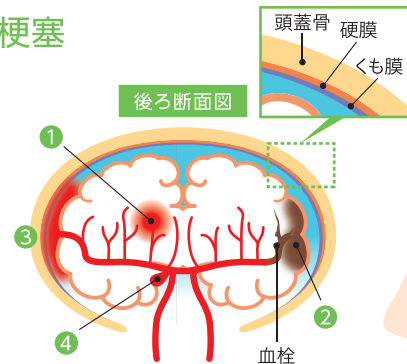
① 脳出血 ② 脳梗塞

③ くも膜下出血

脳神経内科と合同でカンファレンスを毎朝行い、必要時には顕微鏡手術を行うほか、「神経内視鏡手術※1」も可能です。

④ 脳動脈瘤

5mm以上の動脈瘤に対して「開頭クリッピング術」や「コイル塞栓術」を安全に行います。大型動脈瘤に対しては各種バイパス術を補助として外科的治療を行います。



⑤ 脳腫瘍

MRIなどで評価・診断し、顕微鏡手術を行います。必要時には放射線科と連携し、サイバーナイフ治療なども行います。

⑥ 頸部内頸動脈狭窄症

頸部の内頸動脈にプラークができると、血栓が脳に飛んで脳梗塞を起こす可能性があります。状況に応じて「内膜剥離術※2」または「ステント留置術」を行います。

【取り扱う主な疾患】

- 脳動脈瘤
- 頸部内頸動脈狭窄症
- もやもや病
- 髄膜腫
- 下垂体腺腫
- 神経膠腫
- 転移性脳腫瘍
- 聴神経腫瘍
- 顔面けいれん
- 三叉神経痛
- 正常圧水頭症など



術中血管撮影 (ICG video angiography) を搭載した高度な手術用顕微鏡

脳神経外科 医長 大枝 基樹

日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中
学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医
【主な専門領域】脳血管障害、もやもや病、
内頸動脈狭窄症



患者さまにとって「安全でベスト」を 第一に治療方針を決めています。

生命を司る神経で構成される脳は、思考、記憶、感覚などあらゆる機能と深く関わっています。脳動脈瘤や脳腫瘍などの治療で脳を手術する際は、これらの機能を護るため、正常脳を傷つけないよう細心の注意が必要です。こうした特殊性から脳神経外科では、部位を顕微鏡で拡大して処置を行う顕微鏡手術が早くから発達しました。ただし、顕微鏡手術は全身麻酔による頭皮の切開が必要で、特に高齢の方への負担は大きく、手術に適さないケースもあります。

そこで最近では、低侵襲かつ短時間で済む、局所麻酔による神経内視鏡手術※1も積極的に取り入れ、80歳代の方でも安心して手術

が受けられるようになりました。

ここ数年、増加傾向にあるのが、頸部から脳につながる内頸動脈が狭くなる「頸部内頸動脈狭窄症」で、脳梗塞を引き起こす危険な病気です。当科では患者さまの全身状態に合わせ、「内膜剥離術※2」「ステント留置術」いずれの治療も提供できる体制を整えています。

脳の手術というだけで怖いイメージを持たれがちなのですが、いくつかの選択肢のうち、患者さまにとって安全でベストであることを第一に治療方針を決めています。どうぞ安心して治療を受けてください。

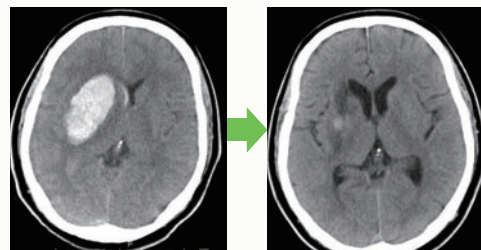
クローズアップ

高い専門性が求められる脳神経外科の手術

神経内視鏡手術※1

細い管を挿入して治療するため、低侵襲で短時間の手術が可能。高血圧性脳出血や下垂体腺腫の手術などに適しています。当科には2名の日本神経内視鏡学会技術認定医が在籍しています。

内視鏡下脳内血腫除去術



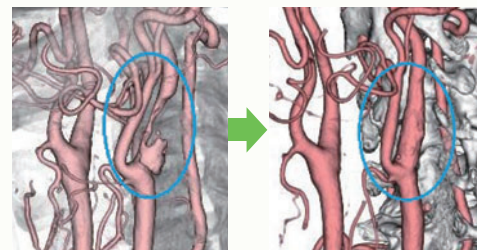
術前

術後

内膜剥離術※2

頸部内頸動脈狭窄症に対する外科的治療法の1つ。頸部の皮膚を切開し、血管の内膜に付着したプラークを摘出して血行を再建します。

内頸動脈内膜剥離術



術前

術後

脳神経外科診療を支えるスタッフ

脳神経外科は緊急手術が多いので、麻酔科としてER経由での術前管理や術中の全身管理、集中治療科としてICUにおける術後管理などを担当します。患者さまが早く元の生活に戻るよう、早期の人工呼吸器の離脱や栄養管理も行います。



麻酔科・集中治療科 科部長
林 和敏

いつでも医師が安全に手術を行えるように、日頃から手術器械を管理し、短時間で確実に準備することを心がけています。手術中は患者さまの体位にも気を配り、術後に神経障害などの合併症が起らないような看護を大切にしています。



中央手術室 看護師
土屋 里咲美

脳出血や頭部外傷などが原因で起こる嚥下障害、構音障害、高次脳機能障害に対して評価・訓練を行います。復職を目指す患者さまも多いので、退院後の生活も視野に入れながら、多職種がチームを組んで「安心の医療」を提供します。



リハビリテーション科 言語聴覚士
都田 望



脳神経外科と脳神経内科が毎朝合同カンファレンスを行い、手術が必要と判断された場合は迅速に対応します。また、脳卒中が疑われた際は、当科開発の評価スケール「TOPSPIN」を活用し、来院時から迅速に原因を特定し、血管内治療などの新たな治療も直ちに行えるようサポートしています。

脳神経内科 医師チーム

笑顔を励みに 共に成長していきたい

トヨタ看護専門学校卒業後、当院で働いて約20年、これまでたくさんの経験をさせてもらいました。最初の配属先は消化器内科の病棟で、その後、混合内科、血液内科・循環器内科、産休を経て新人教育担当、そしてGICU(集中治療室)へ。科が変われば知識や技術も異なりますし、年齢を重ねると周囲からは「経験者」と見られるので、研修会や勉強会に参加したり、医師の講義をこっそり聞いたりして(笑)、知識を身につけてきました。科が変わらなくても、新しい薬や治療方法が次々と出ますから、看護師って常に勉強し続ける仕事だと思います。また、2年間、新人教育を担当したときは、母親のような気持ちで新人と接するよう心がけました。いずれ即戦力として働く大切な仲間になるわけですから、一人ひとり大事に育てていこうと。私の新人時代と



血液内科・循環器内科病棟(中央棟西3階)
看護長 築山 久美子

トヨタ看護専門学校を卒業後、1997年入職。消化器内科、血液内科・循環器科、新人教育担当、GICUを経て、2019年3月、血液内科・循環器内科病棟の看護長に就任。

というのは「見て学べ!」と厳しく指導されたものですが、今の時代、それでは新人は伸びません。自信を失いそうになっている子には「スモールステップでいいから少しずつ前に進もう」とそっと背中を押すようにしました。

仕事の喜びは何といっても患者さまとご家族の笑顔です。GICUに救急搬送された方の意識が戻り、ご家族が涙を流して喜んでいる姿を見ると、自分も自然と笑顔になります。

今年3月、看護長として血液内科・循環器内科に戻ってきました。新人教育で担当した子が一人前となってバリバリ働く姿を見るとうれしいものですね。私も含め、一人ひとりがさらに成長できるよう頑張ります。

職場のスタッフから一言

いつも優しく穏やか。そばにいてくれるだけで安心します。後輩をしっかりと指導するものの、怒っているところを見たことがありません!

経営スタッフからこんにちは

町いちばんの病院を目指し、成長を加速します

2021~22年頃の病院建て替え(ReBORN)に向け、準備が本格化しています。「地域の皆さまから選ばれる病院」を合言葉に、今までの病院のイメージを覆すようなトヨタらしい病院を目指し、日々知恵を出し合っています。自動運転やロボットの活用なども視野に入れています。もちろん設備だけでなく、最新の高度医療を提供できるよう全診療科が真摯に取り組んでおります。ダビンチを活用した手術は、いよいよ婦人

副院長 篠田 憲幸

科、外科領域でも開始しました。がんゲノム医療におきましても地域をリードすべく準備を始めております。急性期疾患のみならず、地域の高齢化に対しましても、地域一丸となって対策を進めていけるよう、当院の地域連携室がハブ(中心)となり近隣の医療機関と密に連携を図っていきます。町いちばんの病院を目指し、これからもカイゼンを続けてまいります。ご指導のほどよろしく願いいたします。



Team

—職場紹介—

臨床研究支援室

研究に関する
疑問や不安は
当室まで!



治験コーディネーター

臨床研究支援室のメンバー。臨床研究を円滑に進めるため、研究計画を立てることから、倫理審査の申請、終了後の記録の保管まで、さまざまな支援を行います。

治験施設支援機関(SMO)の「治験コーディネーター」の皆さん。治験について患者さまに説明などを行います。

治験審査委員会(IRB)

研究の科学的・倫理的な妥当性を第三者が審査する委員会。患者さまの安全と人権を守ることを最優先にしています。



臨床研究審査委員会

病院スタッフが主導で取り組む「臨床研究」もサポート。詳しくは当院ホームページの治験・臨床研究のご案内をご覧ください。



患者さまの安全を守りながら、医療の進歩をお手伝いしています!

臨床研究支援室は、病院で行われる「治験」や「臨床研究」をお手伝いする「裏方」です。医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師など医療の専門知識を持つ者と、外部企業の「治験コーディネーター」で構成され、日々、研究に取り組む病院スタッフのお手伝いをしています。

「治験」「臨床研究」には患者さまのご協力が不可欠です。普段使用される薬、治療法、ケア手法などは、「治験」「臨床研究」を経て有効性と安全性が確認されたもののなの

です。多くの患者さまが協力という“バトン”をつなぐことで、今日の医療の進歩があると言っても過言ではありません。研究に参加してくださる患者さまに感謝すると共に、人権と安全をしっかり守ることも当室の大切な役目です。また、より良い医療を追求しようと、質の高い研究に取り組む病院スタッフから気軽に相談される雰囲気づくりも心がけています。(グループマネジャー 桑原 桂子)

職場自慢

国の関係法規やガイドラインにきめ細かく対応!



治験や臨床研究を正しく進めるために、守るべきルールが細かく定められています。2018年4月には、新たに「臨床研究法」が施行されました。当室ではこれらに対応した計画書の様式や審査基準などを定め、運用を丁寧にサポートしています。

Quiz

新薬の治験に関して、正しいものはどれでしょう?

- 1 治験の参加は医師が決める
- 2 いったん参加したら途中でやめられない
- 3 必ず新薬を使える



クイズの回答は次ページをご覧ください→

Guide 医療の心得 もしもの備え

第1回

がんと診断されたら

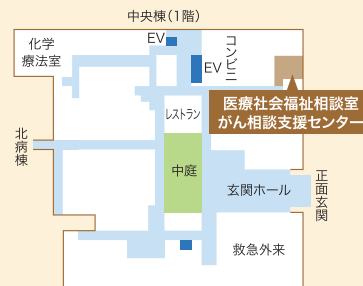
患者さまやご家族からの疑問や不安にお応えするコーナー。第1回は、がんと診断されたときのサポート体制についてご紹介します。

高齢化や生活習慣の変化などにより、2人に1人ががんになる時代。とはいえ、がんと診断されたら「仕事を辞めなければいけないの?」「副作用が心配…」と、誰もが大きな不安を抱くと思います。当院では、看護師や医療ソーシャルワーカー(MSW)が中心となり、治療と暮らしを両立するための支援体制を整えています。悩みや不安はお一人で抱え込まず、お気軽にご相談ください。

Q 治療費を払い続けられるか心配です

A 当院の**がん相談支援センター**では、がんに関する治療費や、仕事と治療の両立など様々な悩みや心配事について専門相談員と一緒に考え、院内スタッフや他の医療機関と連携を取りながらサポートします。公的制度などにより費用負担を軽くする方法があります。例えば、病院の窓口で支払う医療費が1カ月で上限額を超えた場合、その差額分を支給する「高額療養費制度」、1年間に同一世帯が支払った医療費が10万円以上だった場合に確定申告により税金が還付される「医療費控除」などです。

がん相談支援センター 【日時】月～金(休診日を除く) 9:00～16:00
【場所】中央棟1階(がん相談支援センター) 【担当】MSW 【費用】無料 【予約】不要



Q 抗がん剤は副作用が怖いのですが…

A 「抗がん剤は副作用が強い」と思われる方は少なくありませんが、副作用の症状や出方は人によって様々です。当院の**がん看護外来**では抗がん剤や鎮痛薬の専門知識を身につけた認定看護師が複数在籍し、症状や治療に伴う困りごと・心配ごとのご相談に対応しています。



がん看護外来 【日時】第1・2月曜日、第3・4水曜日
13:30～、14:30～(1回/40分程度)
【場所】外来棟2階 内科診察室(個室)
【担当】がん看護関連の認定看護師
【費用】保険診療 【要予約】予約センター 0120-489-587

Q 同じ病気を持つ方とお話したいです

A がん相談支援センターでは、がんの患者さまやご家族が集い、悩みや不安を共有したり情報交換する場として「**がん患者家族交流会(サロン)**」を設けています。また、月1回開催する「**なごみ会**」では、情報交換会に加え、医師・看護師・栄養士などによる勉強会も実施しています。



がん患者家族交流会(サロン) 【日時】月～金(休診日を除く) 13:00～15:00
【場所】中央棟1階(医療情報ライブラリー)
【担当】MSW 【費用】無料 【予約】不要
なごみ会 【日時】指定日(原則第4水曜日) 13:30～15:00
【場所】中央棟1階(講堂) 【担当】MSW、医師、栄養士など
【費用】無料 【予約】不要

Quiz 「新薬の治験に関して、正しいものはどれでしょう?」の答え

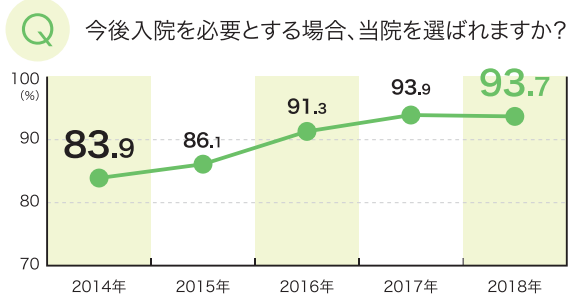
答え: ①～③いずれも誤り 治験は自由意志で参加するもので、医師が強要することはありません。参加後、いつでもやめることができます(安全に終了するためフォローアップの検査などを実施することがあります)。治験の種類によっては、薬の成分を含まないプラセボ(偽薬)を服用する場合もあります。詳しくは医師や治験コーディネーターにお気軽にお尋ねください。

Report

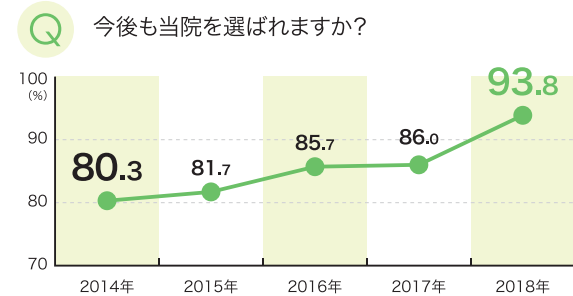
「患者さま満足度調査」にご協力ありがとうございました

当院では毎年、患者さまを対象に満足度調査を実施しています。2018年度は11月にアンケートを実施し、入院患者さま372名、外来患者さま1,024名にご協力いただきました。

入院患者さま

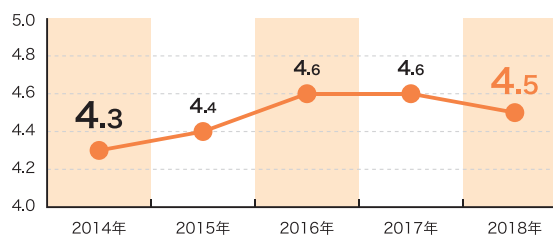


外来患者さま

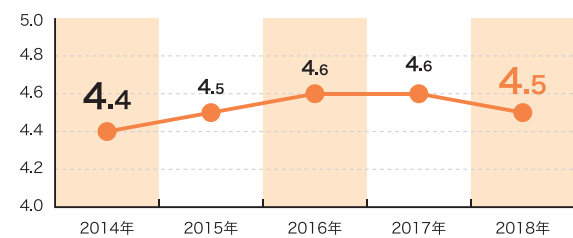


指標 接遇への満足度(5段階評価/外来)

医師の接遇

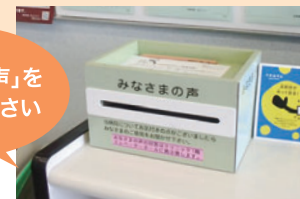


看護師の接遇



昨年度に比べ、入院患者さまの満足度はほぼ同じ、外来患者さまの満足度はやや上昇しました。「看護師さんが親切だった」「スタッフの笑顔が良い」など、日頃のCS活動が満足度向上につながったと思われる、お褒めの言葉を多数いただきました。その一方、「駐車場が狭い」「待ち時間が長い」といったご指摘も数多くありました。また、医師・看護師の接遇に対する満足度もわずかではありますが下がっており、接遇向上に向けさらなる取り組みが必要であると反省しております。当院は2021～22年頃の竣工に向け、病院建て替え計画(ReBORN)を進めています。現病院に対する地域の皆さまからのご意見・ご要望を真摯に受け止め、皆さまに信頼される「町いちばん」の病院を目指します。接遇を含めて病院職員一同、より一層努力してまいります。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

「みなさまの声」をお聞かせください



中央棟ロビー、病棟の各フロア、外来棟に「みなさまの声」の用紙と投書箱を設置しています。皆さまの声が、当院をより良い病院にする原動力となっています。ぜひご意見・ご要望をお聞かせください。



フォトコンテストを実施しました

2月11日(月・祝)～22日(金)、中央棟ロビーでフォトコンテストを実施しました。病院職員が撮影した写真を展示し、来院された皆さまに投票していただく試みです。150票を集計した結果、右の写真がスマイル&ハート賞に選ばれました。



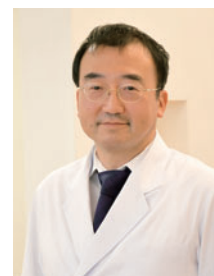
撮影:救急科 米田圭佑 タイトル:出てきちゃダメ

かみや外科クリニック

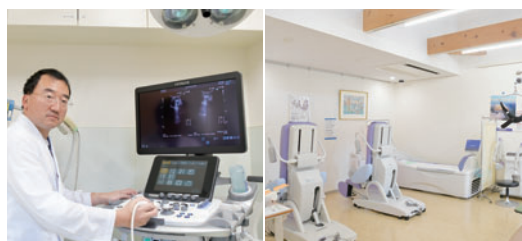
約半世紀にわたって地域医療に貢献。診療モットーは幅広い疾患にできる限り対応すること

静かな住宅街にとけ込むようにたたずむ「かみや外科クリニック」。木を基調にした吹き抜けの明るい待合室が患者さまを温かく迎えます。この地に「神谷外科」として開業して45年、地域のかかりつけ医として、ときには2～3世代にわたって患者さまの健康を見守り続けています。お父さまの意思を引き継いだ2代目院長の神谷諭先生は、10年前に建物を一新すると共に医療機器も充実させ「かみや外科クリニック」として新たなスタートを切りました。

診療科目は外科、内科、消化器内科にとどまらず、創傷処置や切開排膿処置にも対応。勤務医時代から培った経験も活かし「科目問わず、いろいろな疾患にできる限り診療するのがモットーです」と神谷先生。元気だった方が高齢化によって重篤な病気を発症し、トヨタ記念病院に紹介したり救急搬送したりするケースも増えてきました。「時間外でも快く対応していただけて感謝しています。これからも共に地域医療の貢献に努めていきたいですね」。



院長
神谷 諭先生



超音波機器や理学療法設備も充実。3年前から豊田加茂医師会の理事も務める神谷先生は、地域医療の発展によりいっそう力を注ぎます。



【住所】豊田市高上1-16-6
【電話番号】0565-88-8568

【診療科目】外科・内科・消化器内科・皮膚科 【診療時間】9:00～12:00 16:30～19:00
【休診日】水・土曜午後、日曜、祝日

みつわ会

病院ボランティア養成講座 ～「80歳の私」を疑似体験～

今年度も「病院ボランティア養成講座」を開催しました。2月には豊田市社会福祉協議会にご協力いただき、高齢者疑似体験を行いました。白内障、難聴など高齢者の身体変化と、精神的な変化を実感しました。講師の先生からは病院ボランティアへの期待を込めた、ありがたいお言葉もいただきました。



ボランティア「みつわ会」会員を募集しています

【お問い合わせ】TEL 0565-24-7169 FAX 0565-24-7178 (担当: 吉田)

患者さまの 権利

- ① 最善の医療を受ける権利があります。
- ② 治療方法など自ら選択する権利があります。
- ③ プライバシーが保護される権利があります。
- ④ 診療情報の開示を求める権利があります。

患者さまへの お願い

- ① 医療安全の確保についてご協力ください。
- ② 病院内のルール、治療上の注意事項をお守りください。
- ③ お気づきの点、改善すべき点などについてご意見をお寄せください。
- ④ 教育や臨床研究にご理解をお願いします。

トヨタ記念病院 *Smile & Heart* 2019年春号 発行日:2019年3月27日 発行:トヨタ記念病院 編集:人材育成・CSグループ

〒471-8513 愛知県豊田市平和町1-1 TEL 0565-28-0100(代) <http://www.toyota-mh.jp/>

【予約センター】 ☎0120-489-587

【予約受付時間】 当日受診予約 8:00～11:30 翌日以降予約(1カ月以内)は11:00～16:00 ※診療券をお持ちの方はお手元にご準備の上で電話をおかけください。

【健診センター】 TEL 0565-24-7153



トヨタ記念病院の
ホームページはこちら